

水稲用一発処理除草剤

クサトリエース[®]L

ジャンボ

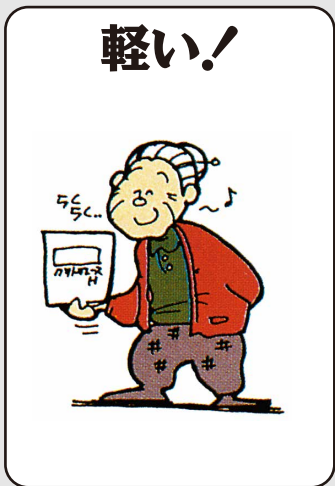
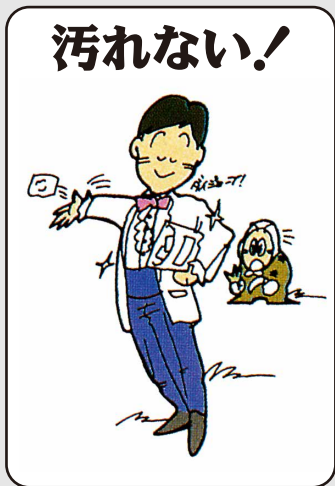
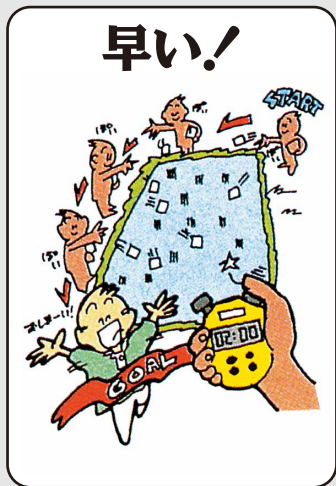
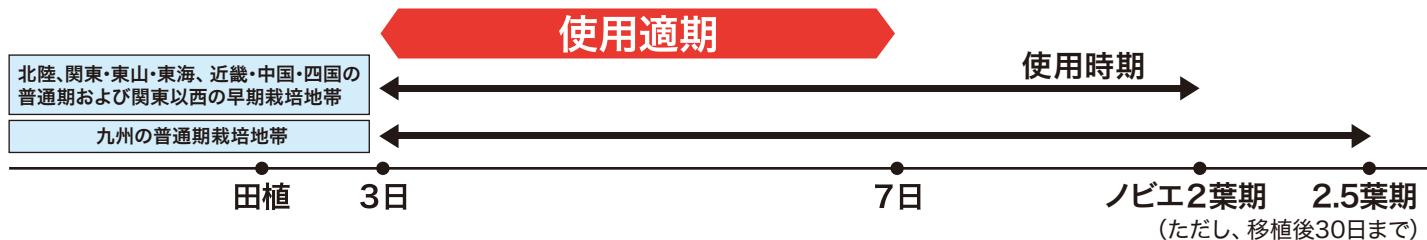
農林水産省登録 第19615号

稲発酵粗飼料
(WCS)用稲
にも使えます!

「稲発酵粗飼料生産・給与技術
マニュアル」(2016年3月改正)
に追加記載されました。



●10アール当り、10パック(300g)・・・



三井化学アグロ株式会社

クサトリエース Lジャンボ

■有効成分：カフェンストロール…7.0% ベンシルフロノメチル…1.7% ダイムロン…15.0%

■人畜毒性：普通物*

*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

使用基準

2017年3月1日現在

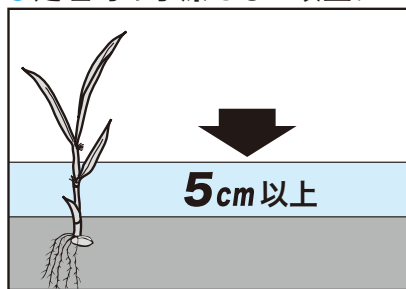
作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当りの使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(北陸) クログワイ(北陸を除く) オモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ(九州) アオミドロ・藻類による 表層はく離(近畿・中国・四国)	移植後3日～ノビエ2葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土 ～埴土	小包装 (パック) 10個 (300g)	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる	北陸・関東・東山・東海、 近畿・中国・四国の普通 期および早期栽培地帯、 九州の早期栽培地帯
		移植後3日～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで					九州の普通期栽培地帯

●アメリカゼナには、移植後10日までの散布で優れた効果を発揮します。

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ベンシルフロノメチルを含む農薬の総使用回数
1回	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内

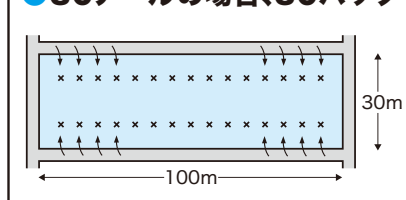
より良い効果のための 上手な使い方

●処理時の水深5cm以上!

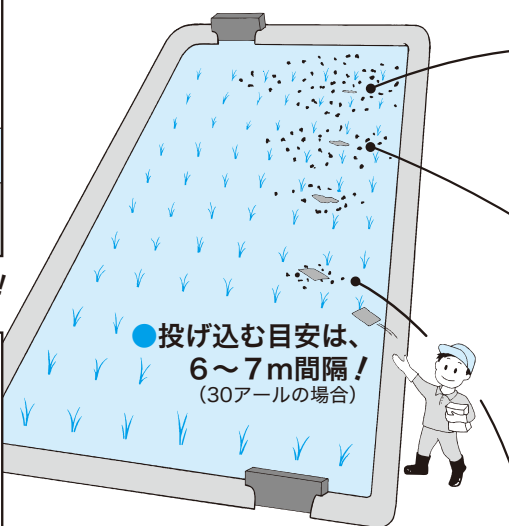


漏水田・かけ流し田では使用しない!

●30アールの場合、30パック



●水口は、しっかり止めて!

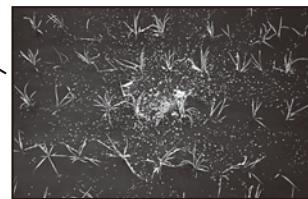


●投げ込む目安は、 6～7m間隔! (30アールの場合)

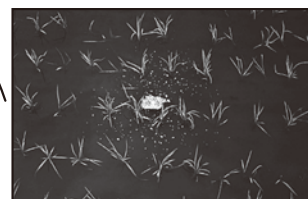
●水尻も、しっかり止める!



処理後 3分



処理後 2分



処理後 30秒

●有効成分は、むらなく拡がります。

- ### 注意事項
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
 - 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期まで(但し、九州の普通期栽培地帯以外は2葉期まで)に時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ(北陸、近畿・中国・四国、九州の普通期栽培地帯)、ミズガヤツリ(近畿・中国・四国、九州)及びヘラオモダカは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、オモダカ(近畿・中国・四国、九州)、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前まで、それ以外の地域とクログワイは発生始期までが本剤の散布適期です。
 - 苗の植付けが均一となるように代かきを怠らないで行ってください。未熟有機物を施用した場合は特に怠らないで行ってください。
 - コウキヤガラ、オモダカ、クログワイは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さないで、有効な後処理剤と組み合わせ使用してください。
 - 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態にし、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水

- を入れて水口を閉じてください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布してください。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用を避けてください。
- 散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避けてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意してください。
- 下記のような条件では薬害が発生する恐れがあるので使用を避けてください。
 1. 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 2. 軟弱な苗を移植した水田
 3. 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 処理後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなど

- の生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 散布田の水田水を他の作物に湛水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 水溶性フィルムの包装が破袋した場合は、眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは園場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

*本印刷物は2017年3月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>